

無保證の連帶借入は

低資融通至難の模様

本日平役場への通牒に依り

大半の申込みは其選に洩る

既報大藏省預金部より本縣に割當られた六十萬圓の中商工業者への低利

資金に就いて本日町役場への通牒に依ると個人の申込は保證人二名以上を要する事は從來の低資借受と變りがないが連帶者七名以上である場合は從來保證人を要せず

今回のは七名以上であつても保證人を要し或は相當の抵當物件の無い者には同資金の融通に應じない事になつて居る爲め今回の申込の大半を占めて居る無保證無擔保の連帶借用申込者は其選に洩るゝ事となるであらうと低資融通

手續きの取扱に關し平町の農商課は憂色を帶びて居る

役場への通牒に依ると個人の申込は保證人二名以上を要する事は從來の低資借受と變りがないが連帶者七名以上である場合は從來保證人を要せず

今回のは七名以上であつても保證人を要し或は相當の抵當物件の無い者には同資金の融通に應じない事になつて居る爲め今回の申込の大半を占めて居る無保證無擔保の連帶借用申込者は其選に洩るゝ事となるであらうと低資融通

石城郡農會並に石城養蠶同業組合に對し今回縣では副農會と養蠶組合へ

本日通知来る

獎勵金交付

農會と養蠶組合へ

中村牧師新著 平町

業共同事業獎勵の爲め補助金を交付する旨本日通知が有つたが補助金は兩組合共事業費の三割程度であると

（川島高等係）縣高級課勤務（中島刑事部長）郡山署

月城氏の著『大和民族と基督教』は今回新生館パンフレット第九號として仙臺市新生館より發行された

勤務（半澤刑事）事務都合により退職（大久保江名

駐在）同上

刑事部長（西條部長）白河署勤務（鈴木部長）若松署

勤務（半澤刑事）事務都合により退職（大久保江名

駐在）同上

六百四十八圓を合計すると

三百二十万八百四十二圓其外

町會議員の日當や出張費等

を合算すれば四萬圓以上に

及ぶと

百九十五圓の巨額に達し是れ以外に全町内廿七區長及び區長代理廿七名の御手當

俸給額は一ヶ年に三萬二千

五百四十圓を合計すると

三百二十万八百四十二圓其外

町會議員の日當や出張費等

を合算すれば四萬圓以上に

及ぶと

三百二十万八百四十二圓其外

町會議員の日當や出張費等

を合算すれば四萬圓以上

運命のいたづらか

息子は何處へ？

折角五年振で逢たものを

平驛の雜踏中に又見失ふ

十三日午後三時半頃平署に身も魂もつき果てた様にたどりついた老行商人が「五年ぶりで漸く邂逅した息子を停車場で又

見失ひました」と搜

査方を哀訴嘆願してきたこの男は千葉縣勝浦町佐伯哲藏(セ)で性來呑ン平の彼は家財道具を叩き賣りあまつさへ二男哲男(五)を五年前同地に開演した旅役者の一座に二百圓で賣り飛ばしその金もつかひ果したころ三男をも賣り飛ばし飲んでしまつたが其後妻や

長男に死別し末ツ子も病歿し果ては一人ボツチとなつて始めて悔悟し只一人の愛子哲男の愛に餘生を送らうと哲男が加はつてゐる一座を二年前より探し求めてわなが東に行けば西、西に行けば東にと常に行き違ひになつてゐたが神様の引合せか偶然にも三

口間相馬中村にて開演中の同一座にめぐり合ひ前非を詫び親子は五年ぶりでひしと抱き合つたが歸國の途中闘伽井嶽の薬師を參拜せんとし下車した處平驛の難踏中にて運命の悪戯にはぐれてしまひ終日血眼にな

つて探し求めたがわからず

思ひ餘つて捜査願ひ出たもので或は地方から入りこんだ香具師に誘惑されする様話して一先づ彼を歸国せしめた

平和麻雀大會 平町田町平和麻雀クラブでは六日午後四時から末廣亭に於て大會を開くが會費は夕食付五十錢一等より十五等迄賞品を呈すと

平町役場では近く縣より拓務省發行の海外移住民獎勵の一雄飛せよ海外の新天地に」と題するボスターを配付される事になつたので到着次第青年訓練所・青年團各産業組合・職業紹介所及び市内各學校に掲示すると

野犬を一頭 平警察廿錢で買上 署管内の蓄犬は現在六百五十頭あるが無鑑札で法規上野犬の倍に達し取締上支障多いの機として平署では一頭「廿錢」で野犬の買上げをなし徹底的撲滅を圖ることになつた

佐久間警部補挨拶 平警察署司法主任齊藤警部補の後任として縣高等課警部補佐久間正美氏は本日初の出署をなし各關係方面に挨拶廻りしたと

坑夫の窃盜犯 石城郡湯本町八仙居住坑失茨城(三)は十三日夜八時頃同町入山炭礦飯場事務所に忍入り現金百圓衣類三点廿圓を窃取せる事發覺本日檢舉さる

■求職の部 △書生 年齢十七八才 高卒以上 住込仕着小遣 (平町某歯科醫院) △店員 廿四才 高卒 (内川村) △大工 廿四才 高卒 (内川村) △店員 廿四才 高卒 (小安達郡某) 廿八歲 尋卒

車ボンブが漸く鎮火したが損害約三千圓位で原因は風呂釜の残火の不始未から飛火したものであると

海外新天地 ホスター配付

今晩の部 □前六、〇〇 (子供の時間) 「獨唱」藤原欣子、山内和代

▼前七、三〇 (子供の時間) 「前七、三〇 放送舞臺劇」人一首中の女性 尾山篤前七、三〇 放送舞臺劇

▼前八、五〇 (子供の時間) 「聖人」松若若太夫

▼後九、四〇 (時報 全國ニ

ヨーロッパ氣象通報 番組

▼後八、〇〇 (小女歌劇) 「古

▼後七、三〇 (講演) 「生物學

博士小原龜太郎

▼後二、〇〇 (運動講座) 「東

北のラクビー蹴球に就て

秋父修吉

▼後六、〇〇 (家庭講座)

「結婚と迷信」高島米峰

▼後〇、〇〇 (薩摩琵琶) 「旅

順開城」吉水錦翁

▼後二、〇〇 (運動講座) 「東

北のラクビー蹴球に就て

秋父修吉

▼後二、〇〇 (運動講座) 「東

小説

(四廿八)

【載轉禁】